

ゆめみにゅーす



YUMEMI ZOO



季刊 VOL. 58
発行日 令和2年11月3日
発行責任者 夢見ヶ崎動物公園
問い合わせ 044-588-4030
飼育展示数 哺乳類:24種162点
鳥類:25種86点
爬虫類:10種86点
(令和2年10月末日現在)

ケイトの旅立ち



ラマのケイトが、繁殖のため兵庫県にある姫路セントラルパークへ引っ越しました。2015年に生まれ、母親のナンに似てちょっと神経質でしたがヒトに向かって唾を吐くことはなく、穏やかな性格でした。

早く新しい環境に慣れてくれることを職員一同願っております。かわいがっていただいた皆様、ありがとうございました。



アニー ありがとう

ヤギのアニーが亡くなりました。10歳と5ヶ月でした。今年に入って緩やかに体力が落ちてきていたものの、最後まで食欲は衰えず、足の力は弱かったものの亡くなる半日前まで歩くこともできました。

あまり自己主張するタイプではなく大人しかったのですが、アニーのいなくなったヤギ舎は寂しいです。アニー、今までありがとう。かわいがっていただいた皆様も、ありがとうございました。



年賀状コンクールのお知らせ

動物公園の動物たちへの年賀状を募集します。いただいた年賀状は事務所に手掲示し、職員投票で選出した金賞・銀賞・銅賞の方には賞品が贈られます。

★募集期間：令和3年1月1日（金）～1月7日（木）**必着**

★展示期間：令和3年1月16日（土）～1月24日（日）

★あて先：〒212-0055 川崎市幸区南加瀬1-2-1

夢見ヶ崎動物公園 年賀状コンクールあて

★注意：はがきの表面にあて先と差出人住所・氏名を記載してください（裏面を掲示するので、裏には個人情報に記載しないでください）。その他、詳しくは市政だより等に掲示する予定です。



*公式フェイスブックはじめました。詳しくはこちらから。



★ピックアップ動物★

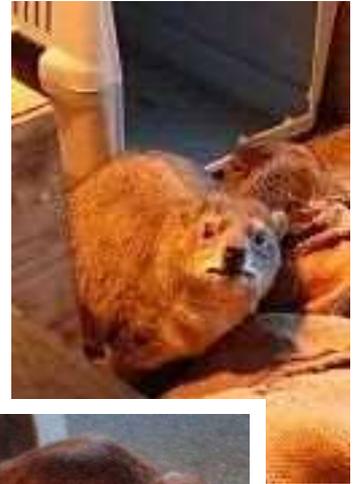
ケープハイラックス

哺乳綱 イワダヌキ目 イワダヌキ科

アフリカ中部の岩山に生息しています。モルモットなどのげっ歯目に似ているように見えますが、イワダヌキ目という独立した分類で、どちらかというところゾウに近い動物です。草や果実などを食べ、岩山の割れ目に吸い付くように四肢でうまく体を支えます。

そのため飼育現場でもちょっとした足がかりがあればどこでも登り、侵入します。飼育スペースには扉から脱走できないよう、手製の扉を増設していますが、もはや彼らのおもちゃになっています。

オスのエルモは人工哺育で育ち、人に近づきすぎて時々鋭い歯で攻撃してくるため、清掃時は隔離していましたが、最近ではメスのオタフクに餌をとられないように、という理由でやっぱり餌の時間だけ隔離しています。見た目よりパワフルで、隔離用のかごを引きずって好きな場所へ移動してしまうこともしばしばです。



獣医の日記

都会には野生動物はすんでいないと思っている人もいるらしく、時々「庭にタヌキが来た、どうすればいい」「ハクビシンが道を歩いていた、どうすればいい」と問い合わせが来ることがあります。何もしなくてよいです。そのへんを蝶やスズメが飛んでいても何もしなくてよいのと同じです。

可愛いから、飢えてしまったらかわいそうだからと餌をあげる行為はもってのほかです。

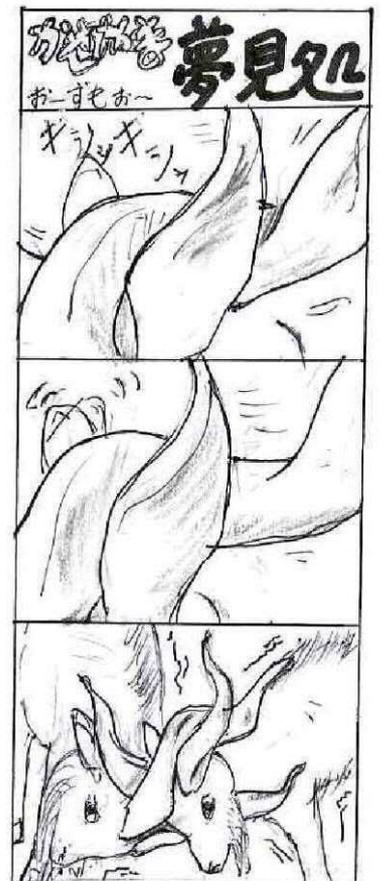
ヒトから餌をもらえることを学習した野生動物はヒトへの警戒が薄くなり、距離が近くなります。交通事故に遭いやすくなったり、ヒトの縄張りともいえる庭や家屋に入り込んで荒らしたり、動物種によっては襲ってきたりもします。

お互いの病気を移すこともあります。同じ病原体でも、感染した動物種が違えば症状や致死率が全く異なることもあり、大変危険です。

そして、ほとんどの時間を費やし、個々が頭を使い、親から子へ、仲間同士で共有してきた野生での餌の探し方を伝えることがなくなります。

その結果生きていけなくなった野生動物に、餌やりを行うヒトが責任を負うことはありません。食餌や繁殖、健康などを管理し、その責任を負うべきペットや産業動物と彼らは違います。

動物公園のある加瀬山にも野生のタヌキが生息しています。ヒトを見慣れている以上に明らかに警戒心の弱い彼らを見ていると、自然の摂理にヒトの感情やら知識のない行動を持ち込んでくれるな、その野生を奪ってくれるな、と強く思います。



★動物たちの主な移動(令和2年8月1日～令和2年10月31日)★

ラマ(♀1 搬出:姫路セントラルパークへ)、ワタボウシパンシエ(♂1 搬入:日立市かみね動物園から)、ヤギ(♀1 死亡:アニー)